

発行：利尻島自然情報センター 利尻町杓形字富士見町 小杉和樹 〒097-0401 Fax 0163-84-3145

## 鴛泊中学校1年生による駆除会！

8月23日、鴛泊中学校1年生の地域学習による駆除会が行われました。当日は、生憎わたしが不在でしたので、利尻町立博物館の佐藤学芸員、今泉ARやいつも駆除作業をしてくださっている地域の方に、湿原のことや外来生物についての説明と実際の駆除の仕方をレクチャーしてもらいました。

中学生は、7月19日に事前学習を行いました。南浜湿原に行ったことのない生徒がほとんど、湿原を観察するのも、駆除作業も初めてでした。それでも、熱心に作業をしてくれ、当日は生徒と引率の先生方、総勢20数名で571本のオオハンゴンソウを駆除してくれました。



中学生は今後、鴛泊中学校周辺の外来植物の分布や侵入の経緯などの調査もするとのこと。鴛泊市街地では、オオキンケイギクが民家の庭で育てられていたり、ノラニンジンがいたる所に繁茂していて、影響が懸念されていますし、彼らのそうした活動が地域内での外来種対策への弾みになってくれたら嬉しい限りです。

## シーズン最後の駆除会

9月も日程の調整がつかず、駆除会は見送ることにしました。ただ、例年より遅くなりますが、利尻富士町役場の若手職員の協力を得ての駆除会を下記の通り行います。勿論、一般の方と一緒にいきますので、皆さん、ふるってご参加ください。今シーズン最後となります。なお、種が落ちないように種摘みが必要ですから、ハサミを持参いただけると助かります。

○日 時：10月7日（土）午前9時半から11時半まで

○場 所：南浜湿原

これまで、そして、これから

「外来生物を考えるパネル展」の展示を開始しました。最初は、利尻町交流促進施設「どんと」のロビーです。

このパネル展は、オオハンゴンソウを中心とした利尻島の外来種対策についての巡回ポスター展で、環境省から受託して実施している「平成29年度利尻島外来種除去等業務」の一環です。このあとは調整中ですが、利尻富士町内で2箇所と利尻町立博物館に巡回する予定です。

A1サイズのパネル9枚で、タイトルパネルは「外来生物の脅威」と穏やかではありませんが、その影響の深刻さを伝えています。解説パネルでは、外来生物の解説と影響から始まり、昆虫や哺乳類も交えての身近な外来生物の紹介、オオハンゴンソウとオニハマダイコンを例にこれまで取り組んできた防除の内容、最後に有効な対策についてになっています。

展示に合わせ「オオハンゴンソウを見つけたら…」と題した、A4版のリーフレットも置いてありますので、ご自由にお持ち帰りください。



	種富湿原	南浜湿原	オタマリ沼	仙法志	杓形	鬼脇	鴛泊	計
2017年目標	2,500本	50,000本	500本	50本	200本	0本	0本	53,250本
2017年実績	2,460本	69,807本	89本	8本	0本	0本	0本	72,364本

2017年実績は、8月末までに報告のあった数の集計です。作業をされた方は場所、日時、駆除本数を毎月末までに報告して下さい。（この通信は環境省グリーンワーカー事業「平成29年度利尻島外来種除去等業務」を受託して発行しています。）